福岡県立大牟田北高等学校

1　本校の授業改善の視点　～育成したい資質・能力から～

【校訓】誠実　勤勉　協同

【校是】目指せ　自己ベスト！～人は自分が思う以上に輝けると思う。～

〈特別活動〉
・生徒主体の学校行事の運営

〈部活動〉
・生徒の主体性を尊重した部活動の経営

◎育成したい資質・能力
・誠実で豊かな心を待ち、自己を陶冶し、他を思いやる心優しい生徒
・向学心を持ち、学業に勤勉に励み、目標を持ち、自己実現に努める生徒
・協同の精神を重んじ、社会や集団の向上に貢献し活躍できる生徒

〈教科・科目〉
・主体的・対話的で深い学びの推進

〈総合的な探究の時間〉
・教科や科目と連携した教育内容の設定
・地域との連携（人的リソースの活用）

2　ＩＣＴ活用の実践例

◎ＩＣＴ活用のポイント
①育成したい資質・能力に適したより深い学習活動の設定。
②生徒の主体的な学習を促す教師の支援
③授業の目的・生徒の状況に即したＩＣＴの活用

◎英語

○改善のポイント

・生徒の理解を促す学習活動の工夫

・フラッシュカードをパワーポイントで作成し、単語の反復学習に活用する。

・表現活動の支援

・生徒の英作文を投影し、全員で共有する。必要に応じて添削し、次の表現活動につなげる。



【写真】
生徒の英作文を投影し、添削している様子



【写真】
キーワードや写真を投影し、ペアで既習内容の復習を行っている様子

◎数学

○改善のポイント

・生徒の理解を促す支援

・関数や図形などの変化の様子を可視化することで、生徒に問題に対する具体的なイメージを持たせ，生徒の理解の補助をする

・本質的な理解を促す

・生徒のノートを投影することで、生徒間の意見などの交換を促す。



【写真】
ノートの投影で、授業内容の共有を図る



【写真】
ペアワークによって生徒が問題に対する具体的なイメージを持たせる。

◎保健

○改善のポイント

・生徒のより深い理解を促す資料の活用

例）写真やグラフ、映像資料、アニメーションの活用
→視覚、聴覚を使った理解の促進

・目的・状況に応じた学習活動の支援

例）生徒の作成した資料を共有する書画カメラの活用（発表等で利用）
→表現力の育成の支援



【写真】
視覚、聴覚を使った理解



【写真】
アクティブラーニングによる対話形式の授業

◎総合的な探究の時間　・生徒が主体的に問いを立て、「生き方」「在り方」について学ぶ

○本校の総合的探究の時間のプロセス

自己の在り方・生き方を考えながら課題発見・解決



◎探究Ⅲ「課題研究講演会」

【概要】ＺＯＯＭを利用して、本校２年生が課題研究に対しての講演会を行い、表現活動の育成を学ぶ。



